

令和6年度 第1回 堺市 ICT 戦略推進本部会議 議事要旨

1 日時 令和6年5月22日（月） 10:15 ～ 10:40

2 場所 本館 4 階 庁議室（オンライン）

3 議題 【審議事項】

- ・ DX の推進
- ・ アナログ規制の点検・見直し
- ・ ICT リテラシーの向上

【報告事項】

- ・ オンライン化の推進
- ・ 業務システムの標準化
- ・ 生成 AI の活用推進

4 議事要旨

【事務局 審議事項・報告事項 説明】

（戦略アドバイザー・高橋）

深刻な人材不足にあっても、行政機関は今以上のサービス提供を行うことが課題であり、DX の取組を進めるために ICT リテラシーの底上げやアナログ規制の見直しを行うことが重要である。

その中で、堺市はアナログ規制の見直しについて、条例・規則のキーワード検索も終わっており、他自治体より先行して取り組まれている。アナログ規制の見直しに合わせてこれまでの業務の進め方が効率的かどうか改めて検討し、条例や規則の改正を行ってほしい。

また、最近、マイナンバー法によって情報連携ができる環境が整っている中で、これまでどおり税証明や住民票を住民に求めていることについて、会計検査院が指摘したとの報道があった。マイナンバーを活用した情報連携などを各自治体に委ねていると推進されない結果になることが多い。その点を解決するために堺市のように先進的に取組を進める自治体は、国や他の自治体に先行事例を示してもらいたい。

【質疑】

（本屋副市長）

先ほど、戦略アドバイザーの高橋氏からマイナンバーを活用した情報連携について他自治体では取組が進んでいない事例について報告されたが、本市においてはどのような状況か。

(ICT イノベーション推進監)

マイナンバーを活用した情報連携として他自治体へ情報を照会する仕組みがある。今回の報道を受けて他自治体と情報連携を行う番号連携サーバについて調査を行い、他自治体とどのくらい情報連携をしているのか確認している。

(上下水道局次長)

DX を職員全員で進めるためには成功体験を積み重ねていくことも重要である。

全区市民課でのキャッシュレス化導入、行政手続きのオンライン化が政令市上位 4 位などの成果を取り上げて士気を高めてはどうか。

上下水道局では令和 4 年度に DX 事例発表会を行い、苦労している部分など情報共有することで若手職員のモチベーション向上に繋がった。実行計画やナレッジ共有会の内容を全職員に共有すること考えていただきたい。

(ICT イノベーション推進監)

実行計画やナレッジ共有会は DX PRO を対象に庁内ホームページに掲載している。DX 推進にあたり全職員に確認してもらいたい。

(ICT イノベーション推進室長)

DX PRO は当初から DX プロットとしてチームで進めていくことを想定して構築している。副市長を筆頭に取組を進め、DX PRO が孤軍奮闘しないよう全体のマインドを上げる。

(市長)

行政においてもデジタル化が進まなければ、業務の効率化はもちろん、市民の皆様が安心して暮らすためのサービスの提供にも重大な影響を与えることとなる。

このことを本部会議メンバー全員で改めて認識し、各部門でも確実に共有してもらいたい。

アナログ規制の見直しやデータ活用、DX を全庁で強力に推進する。自分には関係ない考える職員が一人でも組織にいとボトルネックになることから、全ての職員が当事者意識をもって取り組むように各部門で徹底すること。